

プログラム

5月29日(土) 第1会場

9:50~10:00 開会の辞

10:00~11:50 シンポジウム 1

共催：大塚製薬株式会社

「アドヒアランスを向上させる患者教育の在り方」

座長：大矢 幸弘 国立成育医療研究センター第一専門診療部アレルギー科
 亀田 誠 地方独立行政法人 大阪府立病院機構
 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科

S1-1 アドヒアランスとは？

○楠 隆
 滋賀県立小児保健医療センター 小児科・保健指導部

S1-2 アドヒアランス向上のための吸入指導 ～薬剤師の立場より～

○嶋津 史恵
 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 薬局

S1-3 アトピー性皮膚炎について

○二村 昌樹
 国立成育医療センター 第一専門診療部 アレルギー科

S1-4 親の立場から経験し、考えたアレルギー児のアドヒアランスと、福祉的かかわりの必要性

○岡本 聡子
 NPO法人 ふらっとスペース金剛

13:00~13:30 総 会

13:40~14:30 招待講演

共催：アストラゼネカ株式会社

「Strategies for Improving Asthma Outcomes」

演者：Benjamin Francisco PhD. PNP.AE-C
 座長：赤澤 晃 東京都立小児総合医療センター からだの専門診療部 アレルギー科

14 : 40 ~ 15 : 30 会長講演

「アドヒアランス向上のための戦略」

演者：赤澤 晃 東京都立小児総合医療センター からだの専門診療部 アレルギー科
座長：森川 昭廣 群馬大学 / 希望の家附属北関東アレルギー研究所

15 : 40 ~ 16 : 30 教育講演 1

「アレルギーのしくみ」

演者：斎藤 博久 国立成育医療センター 研究所 免疫アレルギー研究部
座長：西間 三馨 独立行政法人 国立病院機構福岡病院

16 : 40 ~ 18 : 30 シンポジウム 2

「チーム医療で対応するアレルギー疾患」

座長：栗原 和幸 神奈川県立こども医療センター アレルギー科
末廣 豊 大阪府済生会中津病院小児科、免疫・アレルギーセンター

S2-1 入院によるアレルギー疾患 診断・治療コースのシステム化

○長尾 みづほ

国立病院機構三重病院 臨床研究部

S2-2 愛媛県における食物アレルギー病診連携システムの実践

○小谷 信行

松山赤十字病院 成育医療センター 小児科

S2-3 チーム医療としてのアレルギー教室

○林 奈津子、西紋 悠子、小川 徳子、末廣 豊

大阪済生会中津病院 小児科・免疫アレルギー科

S2-4 思春期喘息 - セルフケア能力促進のための看護介入 -

○金子 恵美

国立病院機構 福岡病院

S2-5 コミュニケーションツールとしてのガイドライン

○栗山 真理子

特定非営利活動法人 アレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」

5月29日(土) 第2会場

10:10~10:50 一般演題「喘息キャンプ」

座長：岡田 賢司 国立病院機構福岡病院 統括診療部長

- 1 効果的な喘息キャンプの取り組み
 ○金田一 賢顕¹⁾、赤澤 晃³⁾、島田 姿野²⁾、益田 博司²⁾、松井 鋭²⁾、岡部 麻里²⁾、真井 晃子²⁾
¹⁾国立成育医療センター 第一専門部 アレルギー科、²⁾国立成育医療センター総合診療部、
³⁾東京都立小児総合医療センター アレルギー科
- 2 アレルギー児サマーキャンプにおける自己管理へのアプローチ
 —看護の視点からキャンプ日記を作成して—
 ○戸坂 純子、澤田 潤子、加藤 悦與、高増 哲也
 神奈川県立こども医療センター
- 3 サマーキャンプにおける呼気中一酸化窒素の変化とアドヒアランスとの関係
 ○網本 裕子¹⁾、小田嶋 博¹⁾、漢人 直之²⁾、手塚 純一郎^{1,3)}、増本 夏子¹⁾、児玉 隆志¹⁾、田場 直彦¹⁾、
 村上 洋子¹⁾、本村 知華子¹⁾、柴田 瑠美子¹⁾、岡田 賢司¹⁾、西間 三馨¹⁾
¹⁾国立病院機構 福岡病院 小児科、²⁾あいち小児保健医療総合センター、
³⁾国立病院機構 福岡東医療センター 小児科
- 4 当院主催の喘息サマーキャンプ参加児における、バウムテストを用いた心理的变化について
 ○福田 啓伸、吉原 重美、加納 優治、藤澤 正英、阿部 利夫、岡田 幸、植田 静、有阪 治
 獨協医科大学 医学部 小児科

10:55~11:45 一般演題「食物アレルギー」

座長：山口 公一 同愛記念病院 小児科

- 5 卵アレルギー児に対する新型インフルエンザワクチン接種の検討
 ○川越 信、野々田 真、西田 大祐、宮本 新介、下田 牧子、増田 敬、山口 公一
 同愛記念病院 小児科
- 6 魚アレルギー除去食解除の指標としての特異的IgE抗体、ブリックテストの有用性
 ○小峰 由美子¹⁾、渡邊 美砂¹⁾、小原 明¹⁾、佐地 勉¹⁾、板垣 康治²⁾
¹⁾東邦大学医療センター大森病院小児科、²⁾神奈川科学技術アカデミー
- 7 当院外来における経口食物負荷試験の現状
 ○福田 典正¹⁾、福田 由紀美¹⁾、廣田 直子¹⁾、高野 清美¹⁾、白寄 由美子¹⁾、今村 祥美¹⁾、大内 陽子¹⁾、
 吉原 重美²⁾
¹⁾グリムこどもクリニック、²⁾獨協医科大学小児科
- 8 食物アレルギー児における負荷試験後の除去食解除の現状
 ○足立 陽子、板澤 寿子、岡部 美恵、伊藤 靖典、足立 雄一、宮脇 利男
 富山大学 医学部 小児科

- 9 アミノ酸調整乳で哺乳され、ビオチン欠乏症と考えられた1乳児例
 ○秋庭 真理子、高増 哲也、藤野 歩、犬尾 千聡、栗原 和幸
 神奈川県立こども医療センター アレルギー科

12 : 00 ~ 12 : 50 セミナー 1

共催：杏林製薬株式会社

「喘息の発症・進展と感染症：Friend or Foe?」

演者：藤澤 隆夫 国立病院機構 三重病院 臨床研究部
 座長：海老澤 元宏 独立行政法人 国立病院機構相模原病院臨床研究センター
 アレルギー疾患研究部

16 : 40 ~ 17 : 20 一般演題「喘息とアドヒアランス」

座長：南部 光彦 天理よろづ相談所病院 小児科

- 10 気管支喘息患者への吸入指導の実態について
 - 医師・薬剤師へのインターネット調査の結果から -
 ○川上 智子、塚本 浩子、井上 壽茂
 住友病院 小児科
- 11 気管支喘息児の外来受診状況
 ○奥間 稔
 豊見城中央病院 小児科
- 12 市内公立中学校生徒の喘息コントロールとアドヒアランスに関する検討
 ○佐藤 一樹、鈴木 修一、根津 櫻子、渡辺 博子、西牟田 敏之
 国立病院機構 下志津病院 小児科
- 13 母親が知的障害を理解したことによって、治療のアドヒアランスが向上した1女児例
 ○吉田 之範¹⁾、亀田 誠¹⁾、亀岡 智美²⁾、矢島 裕子¹⁾、高岡 有理¹⁾、錦戸 知喜¹⁾、土居 悟¹⁾
¹⁾大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科、²⁾大阪府こころの健康総合センター 総合診療部

17 : 35 ~ 18 : 25 一般演題「学校での支援」

座長：武田 鉄郎 国立大学法人和歌山大学大学院 教育学研究科

- 14 医療・地域と連携し退院後の学校生活の充実をめざす病弱支援学校の役割
 ～知的障害のある喘息児童の進路決定の取り組みを通して～
 ○黒川 洋平¹⁾、白樫 麻紀¹⁾、芝本 博文¹⁾、土口 千恵子¹⁾、西上 優子¹⁾、吉田 之範²⁾、川西 領治²⁾、
 錦戸 知喜²⁾、亀田 誠²⁾、平田 明美²⁾、土居 悟²⁾、幸島 淳¹⁾
¹⁾大阪府立羽曳野支援学校、²⁾大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター

- 15 神奈川県立金沢養護学校におけるアレルギー児への取り組みと今後の課題
 ○黒川 和枝¹⁾、麻薙 幹彦¹⁾、須藤 佳子¹⁾、杉山 多賀子¹⁾、高増 哲也²⁾
¹⁾神奈川県立金沢養護学校、²⁾神奈川県立こども医療センター
- 16 保健授業におけるアレルギー教育の有効性
 ○前田 珠見¹⁾、益子 育代²⁾、大矢 幸弘²⁾
¹⁾静岡県立こども病院 看護部 北3病棟、²⁾国立成育医療センター アレルギー科
- 17 教育委員会とNPOの協働で行ったアレルギー研修
 ○園部 まり子、長岡 徹
 NPO法人 アレルギーを考える母の会
- 18 担任教諭がアレルギー児を支援する時の課題
 ○砂長 聖子、園部 まり子、長岡 徹
 NPO法人 アレルギーを考える母の会

5月29日(土) 第3会場

12 : 00 ~ 12 : 50 セミナー 2

共催 : グラクソ・スミスクライン株式会社

「小児気管支喘息におけるステロイド吸入療法とピットフォール」

演者 : 勝沼 俊雄 東京慈恵会医科大学 附属第三病院 小児科
 座長 : 井上 壽茂 住友病院小児科

5月29日(土) 如水会館

19 : 00 ~ 21 : 00 懇親会

会 場 : 如水会館3階「松風の間」
 懇親会費 : 3,000円

5月30日(日) 第1会場

9:30～10:50 シンポジウム 3

「小児アレルギーエデュケーターは医療にどう貢献するか」

座長：小田嶋 博 国立病院機構福岡病院
及川 郁子 聖路加看護大学 小児看護学

S3-1 開業医の立場から

○椿 俊和

医療法人社団 武光会 つばきこどもクリニック

S3-2 地域のこどもを地域で見守るー治療を受けながら生活するこどもと家族への支援についてー

○宮島 環

医療法人社団 武光会 つばきこどもクリニック

S3-3 思春期喘息をよりよく治す

○末廣 豊

大阪府済生会中津病院 小児科、免疫・アレルギーセンター

S3-4 保険薬局におけるチェックシートを用いた医薬連携による喘息患者の吸入指導の有用性 ～吸入指導の担い手として薬剤師の役割～

○福田 早紀子¹⁾、吉永 健²⁾、平田 奈穂美²⁾、石塚 洋一³⁾、入倉 充³⁾、入江 徹美³⁾、興梠 博次⁴⁾

¹⁾八代総合病院 薬剤部、²⁾熊本中央病院呼吸器科、³⁾熊本大学大学院 医学薬学研究部 薬剤情報分析学分野、

⁴⁾熊本大学大学院 医学薬学研究部 呼吸器病態学分野 熊本大学 医学部附属病院 呼吸器内科

S3-5 食物アレルギーへの対応と専門栄養士の必要性

○池本 美智子

独立行政法人 国立病院機構 福岡病院 栄養管理室

S3-6 日本におけるアレルギーエデュケーターの定着への課題

○益子 育代

国立成育医療センター アレルギー科

11:00～11:50 教育講演 2

「子どもの行動変容を促すヘルス・コミュニケーション：予防から臨床まで」

演者：竹中 晃二 早稲田大学人間科学学術院

座長：西牟田 敏之 独立行政法人 国立病院機構下志津病院

13 : 00 ~ 13 : 30 一般演題「食物アレルギーの社会的支援」

座長：田知本 寛 東京慈恵会医科大学 小児科

- 26 食物アレルギー患者の視点から見た食品表示についてのアンケート調査
 ○岩佐 鮎美¹⁾、高増 哲也²⁾、山本 妙子¹⁾
¹⁾神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 栄養学科、²⁾神奈川県立こども医療センター アレルギー科
- 27 食物アレルギーサインプレートの普及活動
 ○服部 佳苗
 食物アレルギーサインを広めるデザインプロジェクト
- 28 三重県の幼稚園・保育園における食物アレルギー児の対応の実態
 ○竹尾 志野¹⁾、森田 結貴¹⁾、中村 文代¹⁾、谷口 美穂¹⁾、鈴木 啓介¹⁾、坪井 奈巳¹⁾、谷田 寿志³⁾、
 長尾 みづほ³⁾、藤澤 隆夫³⁾、井口 光正²⁾
¹⁾NHO三重病院 3病棟、²⁾NHO三重病院 小児科、³⁾NHO三重病院 臨床研究部

13 : 35 ~ 14 : 25 一般演題「喘息と新型インフルエンザ」

座長：吉原 重美 獨協医科大学 小児科学講座

- 29 当院で経験した新型インフルエンザ感染入院症例のまとめ
 ○児玉 隆志、網本 裕子、田場 直彦、村上 洋子、増本 夏子、本莊 哲、本村 知華子、柴田 瑠美子、
 岡田 賢司、小田嶋 博
 国立病院機構福岡病院 小児科
- 30 アスプールの持続吸入療法が新型インフルエンザ感染症によって誘発された発作に無効と思われた
 気管支喘息患児の一例
 ○阿部 利夫^{1,2)}、吉原 重美²⁾、土屋 喬義¹⁾
¹⁾土屋小児病院、²⁾獨協医科大学 小児科
- 31 新型インフルエンザ罹患時に急激な低酸素血症を呈した小児の気道過敏性についての検討
 ○手塚 純一郎、檜崎 亮、黒木 理恵、古野 憲司、宗 秀典、笹月 桃子、八坂 知美、前田 志保、
 相部 美由紀、吉良 龍太郎、中山 秀樹、水野 勇司
 国立病院機構 福岡東医療センター 小児科
- 32 新型インフルエンザ (H1N1) 重症肺炎で人工呼吸管理に難渋した気管支喘息の男児例
 ○井村 求基、池原 聡、羽賀 洋一、小峰 由美子、渡邊 美砂、小原 明、佐地 勉
 東邦大学医療センター 大森病院 小児科
- 33 新型インフルエンザ罹患時に気胸、縦隔気腫、皮下気腫を合併し、一過性にChilaiditi症候群様の
 画像所見を示した気管支喘息の1例
 ○今井 博則、林 大輔、野末 裕紀、齋藤 久子、青木 健、市川 邦男
 筑波メディカルセンター病院 小児科

14 : 30 ~ 14 : 35 次期会長挨拶・閉会の辞

5月30日(日) 第2会場

9:30~10:10 一般演題「統計・調査」

座長：徳山 研一 埼玉医科大学病院 小児科

- 19 小児における肥満と性差が肺機能に及ぼす影響
 ○田端 秀之¹⁾、平井 康太¹⁾、王 康雅¹⁾、村松 礼子²⁾、萩原 里美²⁾、望月 博之¹⁾、荒川 浩一²⁾
¹⁾東海大学 医学部 専門診療学系小児科、²⁾群馬大学 大学院 医学系研究科 小児科学
- 20 地域基幹病院における小児喘息入院患者の症状増悪因子に関する臨床的検討
 ○港 敏則、中本 裕介、香田 翼、前納 万里、山本 哲也、横田 知之、木寺 えり子、吉田 真策
 公立豊岡病院組合立豊岡病院 小児科
- 21 気管支喘息の入院例に関する検討
 ○稲毛 英介^{1,2)}、中村 明日香¹⁾、山川 陽子¹⁾、小松 充孝¹⁾、鈴木 恭子¹⁾、中澤 友幸¹⁾、松原 知代¹⁾、大日方 薫¹⁾
¹⁾順天堂大学 医学部 附属浦安病院、²⁾順天堂大学医学部小児科学教室
- 22 平成21年度東京都3歳児アレルギー疾患実態調査 - 平成11年度、16年度調査との比較から -
 ○大曲 美由紀¹⁾、坪井 陽子¹⁾、澁江 昌美¹⁾、高橋 博則¹⁾、北林 耐²⁾、赤澤 晃³⁾、松井 猛彦⁴⁾
¹⁾東京都 福祉保健局 健康安全部 環境保健課、²⁾昭和大学病院 小児科、
³⁾東京都都立小児総合医療センター アレルギー科、⁴⁾財団法人東京都保健医療公社荏原病院 小児科

10:15~10:45 一般演題「養育者への支援」

座長：松寄 くみ子 跡見学園女子大学 文学部臨床心理学科

- 23 喘息患児をもつ両親に対する「気管支喘息」についての意識調査
 ○清益 功浩¹⁾、有馬 純²⁾、清水 健³⁾、新宅 教頭⁴⁾、新家 興⁵⁾、松岡 宏明⁶⁾
¹⁾大和高田市立病院 小児科、²⁾ありまこどもクリニック、³⁾しみず小児科、⁴⁾しんたく小児クリニック、
⁵⁾にいのみ小児科、⁶⁾松岡こどもクリニック
- 24 乳幼児期の喘息をもつ子どもを養育する親の情報利用の実際
 ○石井 真
 北里大学 看護学部 生涯発達看護学
- 25 アレルギー疾患患児の保護者におけるグループカウンセリングの効果検討
 — パイロットスタディー —
 ○濱口 真奈、益子 育代、大矢 幸弘
 国立成育医療センター アレルギー科

12 : 00 ~ 12 : 50 セミナー 3

共催：小野薬品工業株式会社

「乳幼児喘息とアーリーインターベンション」

演者：足立 雄一 富山大学 医学部 小児科

座長：伊藤 浩明 あいち小児保健医療総合センター

13 : 00 ~ 13 : 40 一般演題「アレルギーの看護」

座長：浅野 みどり 名古屋大学 医学部保健学科

- 34 看護師によるスコアリングを用いた喘息発作重症度評価の標準化に向けて
 ○山川 あずさ¹⁾、福炭 由佳¹⁾、鈴木 静香¹⁾、有瀧 薫¹⁾、川上 千代¹⁾、高木 喜代美¹⁾、長尾 みづほ²⁾、
 藤澤 隆夫²⁾、勝沼 俊雄³⁾
 ¹⁾独立行政法人 国立病院機構 三重病院 看護部、²⁾独立行政法人 国立病院機構 三重病院 臨床研究部、
 ³⁾東京慈恵会医科大学小児科
- 35 当院における看護師外来の実態
 ○廣田 直子、白寄 由美子、高野 清美、大内 陽子、福田 由紀美、福田 典正
 グリムこどもクリニック
- 36 月にたった1回のアレルギー専門外来をどう生かすか？専門外来を支える看護師の挑戦！
 ○長沼 ひとみ¹⁾、出口 優美¹⁾、吉田 幸一²⁾、名塚 優子¹⁾
 ¹⁾市立釧路総合病院、²⁾国立成育医療センター 第一専門診療部 アレルギー科
- 37 思春期にある気管支喘息をもつ子どものセルフケア能力促進へのケア
 ○金子 恵美
 国立病院機構 福岡病院

13 : 45 ~ 14 : 25 一般演題「アトピー性皮膚炎の患者教育」

座長：成田 雅美 国立成育医療研究センター アレルギー科

- 38 子どもの主体性を育てる患者教育
 ○岡本 めぐみ¹⁾、梅野 真紀¹⁾、福島 加奈子¹⁾、三上 美紀¹⁾、益子 育代²⁾、大矢 幸弘²⁾
 ¹⁾国立成育医療センター 看護部外来、²⁾国立成育医療センター アレルギー科
- 39 スキンケア入院指導を行ったアトピー性皮膚炎児8例
 ○村上 洋子¹⁾、泉田 純子¹⁾、野田 美由紀¹⁾、松井 京子¹⁾、西江 温子²⁾、加藤 しおり²⁾、柴田 瑠美子¹⁾、
 小田嶋 博¹⁾
 ¹⁾国立病院機構 福岡病院 小児科、²⁾国立病院機構 福岡病院 皮膚科
- 40 ステロイド忌避の重症アトピー性皮膚炎の3例
 ○加藤 哲司^{1,2)}、和田 智顕¹⁾、池田 政憲¹⁾
 ¹⁾福山医療センター 小児科、²⁾蒲田総合病院

- 41 治療行動の習慣化と入院生活における社会性の獲得を目指した行動療法の活用
～重症アトピー性皮膚炎患児の一例～
○川城 美輪、堀向 健太、益子 育代、佐塚 京子、津村 由紀、吉田 幸一、二村 昌樹、成田 雅美、
大矢 幸弘
国立成育医療センター アレルギー科

5月30日(日) 第3会場

12:00～12:50 セミナー 4

共催：万有製薬株式会社

「呼吸機能検査と喘息診療の新展開」

演者：望月 博之 東海大学 医学部 専門診療学系 小児科学
座長：近藤 直実 岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学